

# 教育ガバナンスコース

募集人員  
60名

## 幅広い科目編成で、現代社会に対応。

さまざまな立場の人が協働・協力する学校現場の実現に貢献できるように、学校をはじめとする教育事務の調整や戦略的企画の立案、事務管理などに精通する資質・能力を培います。学校や教育にかかわる業務を専門的見地から支援し、情報活用能力やグローバルな視野で活躍するために必要な資質・能力も習得した、教育機関などで活躍できる教育事務職員、教育にかかわる自治体職員などの育成を目指します。

### 4年間の学び

1年次には、「共通教育科目」に加え、「課程内共通科目群」として、教育・発達の基礎理論（教育学基礎科目）とチーム支援の基本的な考え方（教育支援科目）を学ぶ。2年では「教育ガバナンス基礎演習」を中心に、3年次以降の5つの領域のどれをより深く学んでいくかを決定する。3年では、学生たちの興味・関心に沿って、教育、法律、行財政、情報、グローバルの5つの領域を中心に、より深い学修に取り組む。4年次には、各領域における専攻科目のより深い学修とともに、「教育ガバナンス演習Ⅰ・Ⅱ」等を通して、卒業論文の作成に取り組む。

### 特色ある授業・ゼミ紹介

2年生の後期に「実践地方自治概論」が開講されています。この授業では教育行政に限らず、広く地方自治に関するしくみや地方自治体の行政運営等について学習していきます。授業の中では地方自治体のトップまたは幹部・中堅職員をゲストにお招きし、行政運営の方針や特色ある施策の背景等について講演していただくことにしており、受講者からは地方公務員という仕事のやりがいについて質問が出ることもあります。



### 2022年 2年次前期の時間割 (例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限				教育法学概論	ポルトガル語Ⅱ
2時限	キャリア教育論	子ども法Ⅰ	教育ガバナンス基礎演習A	経済学概論	
3時限			この時間を使って「学校体験活動Ⅰ」の事前指導やガイダンスを行うことがあります。	コミュニケーション論実習	コンピュータシステム論
4時限		英語コミュニケーションⅡ			
5時限					

\*上記時間割で示した授業科目以外に2年前期の必須科目として遠隔方式(オンデマンド型)で実施される「発達障害のある児童生徒理解基礎」や「外国人児童生徒支援教育」があります。

### 主な授業科目

- 教育支援と教育ガバナンス
- コミュニケーション論実習
- 教育事務の実践と理論
- NPOと教育
- 教育メディアーター演習
- 学校・自治体インターンシップ
- ICTと教育評価論
- 教育の制度と行政
- 少年法
- 多文化理解
- 学校財政論
- 自治体子ども施策論

### 取得できる資格

◎愛知教育大学教育メディアーター(本学独自の資格として認定)

教育メディアーターとは、教育現場のもめ事などの解決を促す専門職  
教育メディアーター資格取得のための開設授業科目を修得し、  
一般社団法人メディアーターズが実施するアセスメントを受験して  
「メディアーター」の認定を受けることが必要

### 先輩Voice



教育支援専門職養成課程  
教育ガバナンスコース4年  
愛知県立  
知立東高等学校出身

### 多文化共生を学び、外国人を含む地域社会をより良いものに。

教育に限らず、法経済やグローバル、ICTなど多方面の授業があり、自分の興味に応じて選択することができます。私は多文化共生への関心が高く、国際交流会館のチューターとして活動しています。多様な価値観をもつ留学生の生活をサポートしながら共同生活を送っているため、さまざまな発見があります。授業によっては留学生や海外からの教員研修生と一緒に受講できるため、英語力の向上とともに彼らと交流を深めることができることも魅力です。将来は外国人を含む地域住民がより住みやすい社会づくりに貢献していきたいです。